

短期研修報告書

記入 | 2017年 8月
所属 & 学年 | 医学部 3年生

留学先大学 (国名)	漢陽大学
短期研修のプログラム名	2017 漢陽大学サマースクール
留学した期間	17日間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

ソウルへの短期留学は今回で2回目ですが、語学能力の向上を目的として再び渡航を決定。個人で漢陽大学の窓口へ連絡を取って申し込みをしました。日本語・英語が堪能な方が対応して下さるので、韓国語初心者の方でも安心してやり取りができると思います。語学対策はあまりできませんでしたが、動画を見て韓国語を毎日聞くこと、簡単に手持ちのテキストを確認する程度はしていました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

このプログラムは、韓国語研修と希望者はスペシャルアクティビティ(別料金)を取ることができます。私は韓国語研修のみ参加で、授業は9:00-13:00の4時間、午後はフリーでした。クラス編成は、入国2日目にレベル分けテスト(筆記と面接)を行い、その結果に基づいて7個のクラスに分けられ、レベル7が一番上のクラスになっていました。各クラス10~15人程度に対して先生1人で非常に丁寧な講義を受けられました。私のクラスでは宿題が出ませんでしたが、希望すれば先生に作文などの添削は行ってもらえます。授業は教科書を用いた말하기(スピーキング)が主体のもので、簡単に単語を確認した後に文法の演習問題をして練習し、最後にペアワークで会話文作成をし、発表という感じの展開でした。もちろん授業は全て韓国語で行われますが、先生が表現や単語の工夫をして理解できるように努めて下さるので特に心配はないかと思います。授業最終日には筆記試験・インタビュー試験があり、そのあとに修了式が行われました。学生同士の交流に関してですが、プログラム参加者を面倒見てくれる도우미(トウミ)というメンターがいるので、その子たちとご飯にいたり遊んだり、交流は盛んに行われていました。スペシャルアクティビティは全てトウミがサポートしているものなので、スペシャルアクティビティを取っている学生は比較的トウミたちとの交流が深かったように感じます。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

宿泊は女性専用の寄宿舍(午前1時が門限)でしたが、不便なところは多々ありました。主要な不便な点3つ: ①教室までが遠い(ほぼ山登り)、②冷蔵庫が部屋にない(棟の1階に冷蔵庫スペースがあって、みんなの食料をそこに詰め込みます)、③韓国独特の水回り(各部屋にシャワールームはあるが、シャワーと洗面台が一体&トイレすごい近い)
キッチンはないので、朝はため買いしておいたヨーグルト、お昼は外に食べに行ったり食べなかったりで、夜も外食か포장(持ち帰り)して部屋や食堂で食べたりしていました。原則部屋では飲食禁止(お菓子や軽食くらいなら大丈夫)なので、チキンなどをケータリングして食べる時は食堂へ行かなければなりません。

韓国は日本よりも物価が若干安く、交通費がとっても良心的なので、留学生としては過ごしやすい環境です。交通手段にはバス、地下鉄をよく利用していました。T-money カードですとだいたい 120 円くらいで移動できますし、バスと地下鉄を合わせて利用すると割引されるので交通カードを買うことをおすすめします。

参加者の中でお腹を壊してしまう子が多くいましたので、なるべくお水は買ったものを飲むこと(水は 500ml で 30-100 円くらい 日本より安い)、辛いものを食べすぎないこと、夜更かししすぎないことが大事だと思います。

持って行くべきもの・持って行って良かったものは、①トイレトペーパー2 巻ほど、②箱ティッシュ、③除菌シート、④レジ袋(部屋にゴミ箱がないので大量に持って行きましょう)、⑤ビーチサンダル 2 つ(水回り用とスリッパ代わり用で持って行くと楽です)、⑥個包装の洗濯洗剤(トウミに言えば貸してくれるらしいですが、毎回声かけるのも大変ですし、現地は大きい洗剤がほとんどなので日本から持って行くべき)、⑦ハンガー数本、⑧スプーン(私は朝ご飯にヨーグルトを食べるので、日本から個包装のものを持って行きました 現地で買えますが、便利です)、⑨折り畳み傘、⑩飲みなれた薬類

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

ソウルは治安が非常に良いので、日本と同じように生活して問題は全くありません。夜も比較的明るく、学生も多く出歩いているので逆に日本の夜の方が怖く感じるくらいです。だからと言ってフラフラするのは危ないので、常識程度の危機管理で大丈夫かと思います。

危機管理であえて言うならば、明洞などの観光地では日本語ができる店員さんが多く、結構強引に商品を買わせてくるお店もありますし、詐欺まがいのことをしてくる所もあります。(今回の留学のみの話ではなく、実際に被害を受けた方は大勢います) ですので、韓国語があまりできない方、断るのが苦手な方は明洞の店舗に行かない方が良いと思います。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

現地で生活しながら学ぶことは大変いい経験になるかと思います。私自身も、授業が進むにつれて実生活で使える表現が広がったり、相手の話の理解が深まったりと今回の渡航でまた一回り成長できたように思います。漢陽大学は名大の協定校ですし、授業料も他の大学と比べると手頃なので、韓国語を学びたい方はぜひトライしてみてください。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	
海外旅行保険	円	
授業料 (教材費含)	10 万円	
滞在費 (寮費など)	1 万 5 千円	一人部屋に変更時のみ追加料金
食費	円	
交通費	円	
その他 (小遣い、通信費など)	円	
計		円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

